

悪^{あく}を聞^ききては、

就^{そのまま}には悪^{にく}むべからず

《こども菜根譚^{さいこんたん}より》

《監修 齋藤孝》

(訳)

悪^{わる}くても

よくても

うわさはうわさ。

ふりまわされたら

いけないよ。

上の言葉は言われなくても解っています！と言われそうですが、「拡散、転送」を促すチェーンメール。「フェイクニュース」という嘘・偽のニュースを信じ、家族や友達に伝えた人はいませんか？

菜根譚は言っています。悪いうわさは有る人を落とし入れる為に、その人を嫌っている誰かが流しているかもしれない。良いうわさでも自分をアピールするために流しているとも考えられる。つまり、うわさとは本当かどうかわからないもの。そのまま信じて周りの人を正しく判断できなくなってしまいう可能性も有ると。

うわさよりも、自分で見たものや感じたことを正しく判断できる事が大事だと思います。(栗山町 萩山玲子)

